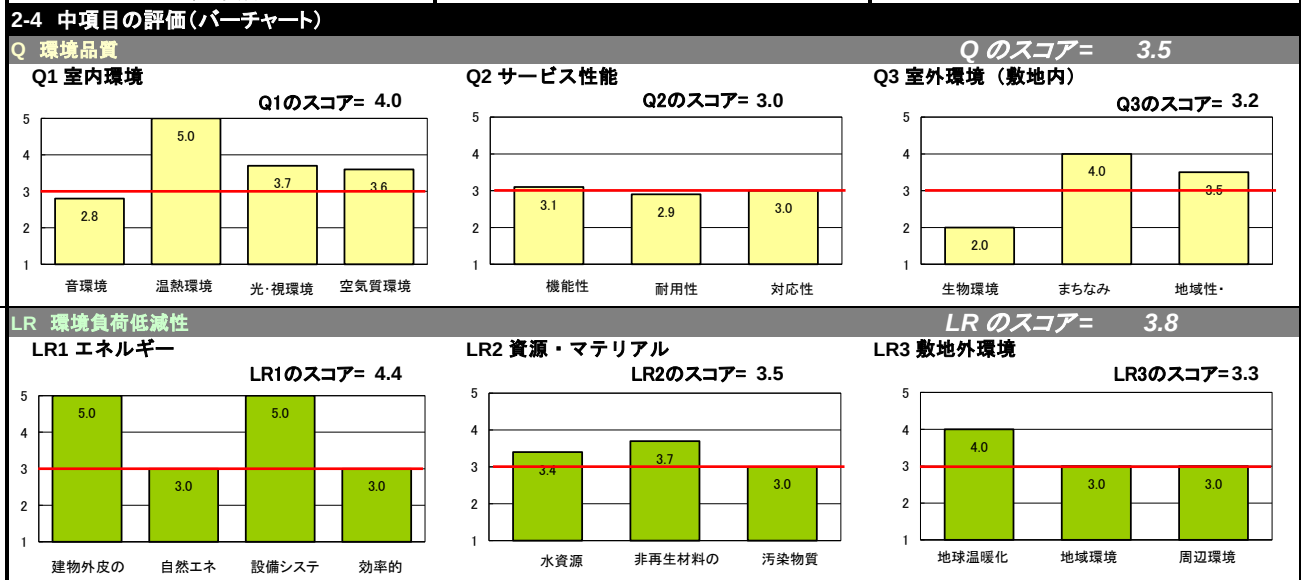
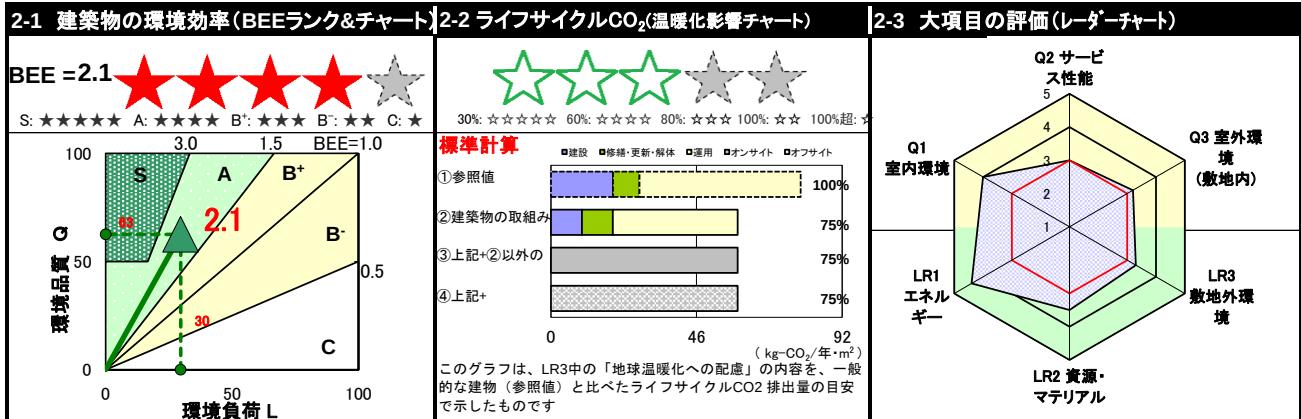


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	06-泉北竹城台一丁目団地後工区E棟	階数	地上13F	
建設地	大阪府堺市南区竹城台一丁目2番5の	構造	RC造	
用途地域	商業地域、防火地域、第2種許可地	平均居住人員	379 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年9月 予定	評価の実施日	2025年1月31日	
敷地面積	5,230 m ²	作成者	(株)遠藤剛生建築設計事務所	
建築面積	931 m ²	確認日		
延床面積	8,023 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合 当建物は西日本最大級のニュータウンにあり、昭和46年より併用開始された団地の一部建替である。基本的には既存の配置、規模を継承しつつ、時代にあった建物を計画している。		その他 既存自然環境の保全に努めている。
Q1 室内環境 - 戸境壁 RC壁厚180以上 - 住宅性能表示の温熱環境対策等級5 - 建材はF☆☆☆☆ - 幅広サッシ採用	Q2 サービス性能 - 大阪府福まち条例に適合 - 共用部・外装仕上の防汚、防錆に配慮 - 共用部の維持・管理、修繕、清掃に配慮 - 住宅性能表示の劣化対策等級2 - 基準階階高2.9~2.95m	Q3 室外環境(敷地内) - まちなみ・景観について、配置、植栽、色彩、周辺からの景観に配慮 - 既存樹木をできるだけ保存
LR1 エネルギー - 住宅性能表示のエネルギー消費量対策等級5 - BELS適合 (ZEH-M Oriented)	LR2 資源・マテリアル - 内外装材の一部に特定調達品目を採用 - 解体時におけるリサイクルを促進させる対策として、木造軸組下地、乾式二重床使用	LR3 敷地外環境 - 適切な駐輪・駐車スペースを確保 - 照明計画は照明の専門家が参加

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	06-泉北竹城台一丁目団地後工区E棟建築その他工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市南区竹城台一丁目2番5の一部	2.1	A
	主用途/延床面積	集合住宅 / 8,022.76 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	■■■■●
みどり・ヒートアイランド対策	3	■■■●●
エネルギー削減	5	■■■■■
建物の断熱性	5	■■■■■
安全快適な暮らし	4	■■■■●
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	4.0	4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	3.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	5.0	5
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0	5
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	4.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	5.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	○

4. その他

技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	